

B型肝炎予防接種を受ける人へ（B型肝炎予防接種説明書）

定期予防接種は、音更町に住民票がある人が対象です。

長期間の里帰りや、疾病などで町の指定医療機関以外で接種する必要がある場合は、事前に保健センターにお問い合わせください。

1 B型肝炎について

B型肝炎ウイルスの感染により起こる肝臓の病気です。B型肝炎ウイルスへの感染は、一過性の感染で終わる場合と、そのまま感染している状態が続いてしまう場合（この状態をキャリアといいます）があります。キャリアになると慢性肝炎になることがあり、そのうち一部の人では肝硬変や肝がんなど命に関わる病気を引き起こすこともあります。

B型肝炎ウイルスは、B型肝炎ウイルスに感染している人の血液を介して感染します。また、感染している人の血液中のB型肝炎ウイルス量が多い場合は、その人の体液などを介して感染することもあります。B型肝炎ウイルスに感染している人との握手や食器の共用などで感染することはありません。

ワクチンを接種することで、体の中にB型肝炎ウイルスへの抵抗力（免疫）ができます。免疫ができることで、一過性の肝炎を予防できるだけでなく、キャリアになることを予防でき、まわりの人への感染も防ぐことができます。

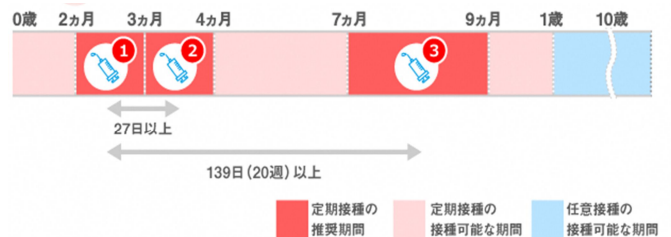
2 接種対象年齢

1歳に至るまでの間

3 回数及び接種間隔

(1)回数 3回

(2)接種間隔 27日以上の間隔をあけて2回接種し、その後、1回目の接種から139日以上の間隔をあけて3回目を接種



4 副反応

主な副反応は、注射部位の紅斑、腫れ、疼痛、しこり、かゆみなどがあり、注射部位以外の副反応として、発熱や刺激に反応しやすくなったりすることがありますが、いずれも数日で回復します。

稀に生じる重い副反応としては、アナフィラキシー様症状（ショック症状、じんましん、呼吸困難など）、急性散在性脳脊髄炎などの病気にかかることがあるといわれています。

5 予防接種による健康被害救済制度について

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障害を残す等の健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。健康被害の程度等に応じて、医療費、医療手当、障害児養育年金、死亡一時金、葬祭料の区分があり、法律で定められた金額で支給されます。死亡一時金、葬祭料以外については、治療が終了するまたは障害が治癒する期間まで支給されます。

ただし、その健康被害が予防接種によって引き起こされたものか、別の要因(予防接種をする前あるいは後に紛れ込んだ感染症あるいは別の原因等)によるものなのかの因果関係を、予防接種・感染症医療・法律等、各分野の専門家からなる国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合に補償を受けることができます。※給付申請の必要性が生じた場合には、診察した医師、保健センターへご相談ください。

6 予防接種を受けることができない人

- (1)明らかに発熱(通常37.5℃以上をいいます)のある人
- (2)重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- (3)予防接種に含まれる成分でアナフィラキシーを起こしたりしたことのある人
- (4)予防接種を受けようとする病気に既にかかったことがある人、又は、現在かかっている人
- (5)その他、医師が不相当と判断した場合

7 予防接種を受けるに際し、お医者さんとよく相談しなくてはならない人

- (1)心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患及び発育障害等の基礎疾患を有することが明らかな人
- (2)かぜなどのひきはじめと思われる人
- (3)前に予防接種を受けた時、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどアレルギーを思わす異常が見られた人
- (4)薬の投与を受けて皮膚に発疹がでたり、身体に異常をきたしたことがある人
- (5)今までにけいれんをおこしたことがある人
けいれんの起こった年齢、その時に熱があったかなかったか、その後起っているか、必ずかかりつけの先生と事前によく相談しましょう。原因がはっきりしている場合には、一定期間たてば接種できます。
- (6)過去に中耳炎や肺炎などによくかかり、免疫状態を検査して異常を指摘されたことがある人
- (7)ワクチンには抗原のほか、緩衝剤、安定剤、抗菌剤、着色剤等が入っています。これらにアレルギーがあるとされたことがある人
- (8)家族・遊び友達、クラスメートの間で、はしか、風しん、おたふくかぜ、水ぼうそうなどの病気が流行している時で、予防接種をうける本人がその病気にかかっていない人

8 予防接種を受けた後の注意事項

- (1)接種当日はいつものとおりの生活をして激しい運動は避けましょう。入浴は差し支えありません。
- (2)接種後2～3週間は副反応がでることがありますので、注意しましょう。
- (3)副反応について(症状は「[4 副反応](#)」をご覧ください。)
 - ア 接種部位が赤く腫れたり、痛んだり、痒くなることがあります。2～3日で消失します。接種部位はかかないようにしましょう。
 - イ 接種部位のひどい腫れ、高熱、ひきつけ等症状がありましたら、病院を受診して保健センターに連絡してください。

不明なことがありましたら、保健センターにお問い合わせください。